

地面の下の環境学

こんな問題に取り組んでいます

私たちの生活に不可欠なエネルギー・資源開発に伴う地表および地下環境の変化、地下空間の開発や廃棄物の地下への処分といった地下高度利用に関わる研究を行っています。また、乾燥地域や途上国の持続的な水資源開発に資するため、地下水に着目した研究を行っています。

こんなことがわかってきました

地下での水やガスの挙動と地盤変動は密接に関わっていますが、その評価や将来予測のための解析技術を完成させつつあります。また、水を通しにくい地層が半透膜としての挙動することもわかってきました。途上国での研究では、地下水と表流水(河川水・湖水)を統合して検討することが重要であることが示されてきています。

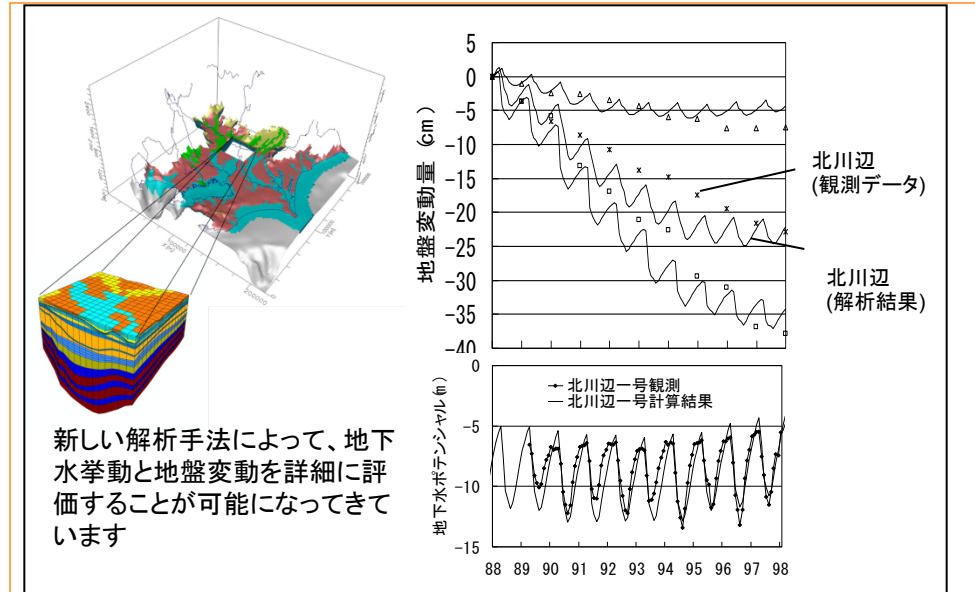
研究の成果はこんな分野に活かされます

私たちにとって重要な課題である放射性廃棄物の地層処分や、エネルギー・資源開発による環境への影響評価に活かされると考えています。また、今後さらに重要になってくるとされる途上国での持続可能な水資源開発・管理に活かされものと考えています。興味のある方は以下もご覧ください。

<http://www.suntory.co.jp/company/mizu/knowledge/03/>

関連展示: 地圏環境システム学研究室

連絡先: 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 環境システム学専攻
徳永 朋祥 <tokunaga@k.u-tokyo.ac.jp>



東南アジア(カンボジア(左)、タイ(中央))やアフリカ(サハラ砂漠(右))をフィールドとして、地下水に着目しつつ水資源・水環境の研究を行っています